

長野県感染症情報(週報)

《情報編》

2026年(令和8年)
第28週
(2026年7月6日～
2026年7月12日)

主な発生動向

○手足口病

手足口病の報告数が定点あたり5.36人となり、流行警報レベルの基準値(定点あたり5.00人)を超えました。

例年、夏季に患者数が増加するウイルス性の感染症で、主に乳幼児を中心に流行します。

手足口病は、口の中、手のひら、足底や足の甲などに2～3mmの水疱を伴う複数の発疹が現れる感染症です。

主な感染経路は飛沫感染・接触感染・経口感染のため、トイレやおむつ交換の後、食事前には石けん・流水による手洗いを心掛け、タオルの共有を避ける、咳エチケットなどの感染対策に努めましょう。

特に、保育施設や幼稚園等の乳幼児の集団生活では、感染を広げないために、感染対策を心掛けましょう。

また、手足口病は治った後も長期間(2～4週間)、便中にウイルスが排泄されるため、日頃からの手洗いが大切です。

○感染性胃腸炎

感染性胃腸炎の報告数は前週から減少しました(前週:5.11人/定点→今週:4.57人/定点)。

ウイルスや細菌などの病原体が原因となる感染症(夏季は細菌などが原因となることもあります)で、嘔吐や下痢などの症状が現れます。

主な感染経路は接触感染と経口感染のため、調理前後や食事の前、トイレやおむつ交換の後には、石けんと流水による手洗いを心掛け、感染予防に努めましょう。

また、体調不良時は無理をせず、周囲への感染拡大防止に努めましょう。



厚生労働省「手足口病 感染症対策チラシ」
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001281495.pdf>

全数把握感染症

類型	報告疾患・報告数
一類感染症	なし
二類感染症	結核2例
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1例
四類感染症	レジオネラ症2例
五類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、後天性免疫不全症候群2例、水痘(入院例)1例、梅毒2例、百日咳5例

定点把握感染症

◆定点当たりの報告数(今週の主な感染症)

感染症名	今週	前週比	1週前	2週前
手足口病	5.36	153.1%	3.50	1.86
感染性胃腸炎	4.57	89.4%	5.11	5.18
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.39	75.2%	3.18	2.75
流行性角結膜炎	1.50	150.0%	1.00	1.10
ヘルパンギーナ	0.93	186.0%	0.50	0.71
急性呼吸器感染症(ARI)	51.64	101.4%	50.92	50.96

○速報値のため今後の集計で変更が生じることがあります。

○厚生労働省「手足口病」

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/hfmd.html>

○厚生労働省「感染性胃腸炎(特にノロウイルス)」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/norovirus.html

【急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランス病原体検出状況】

○急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランス

<https://www.pref.nagano.lg.jp/shippei-kansen/kenko/kenko/kansensho/joho/kansen-ari.html>

○第29週は、7月22日(水)発行予定です。

(問合せ先)

担当 長野県健康福祉部疾病・感染症対策課

中沢 山口

電話 026-235-7148(直通)

026-232-0111(代表) 内線 4135

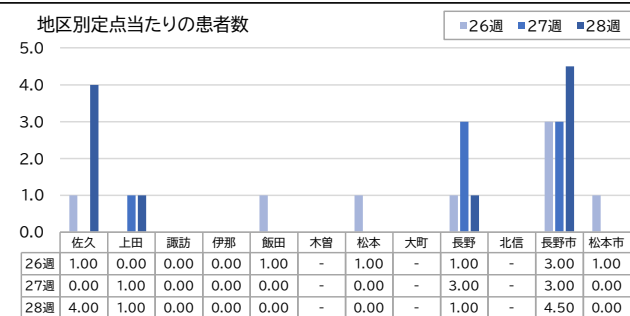
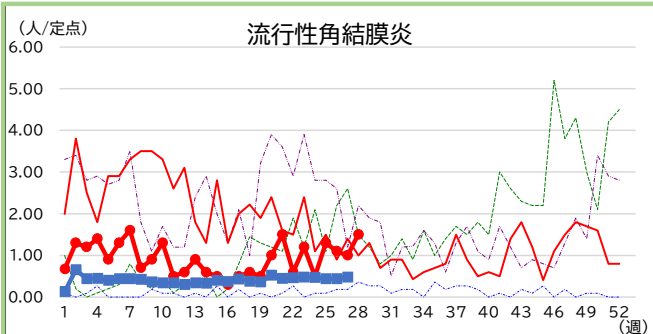
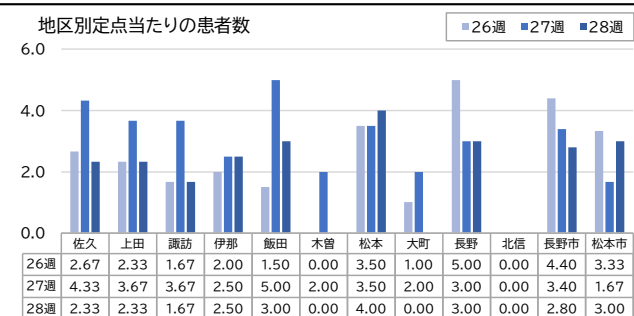
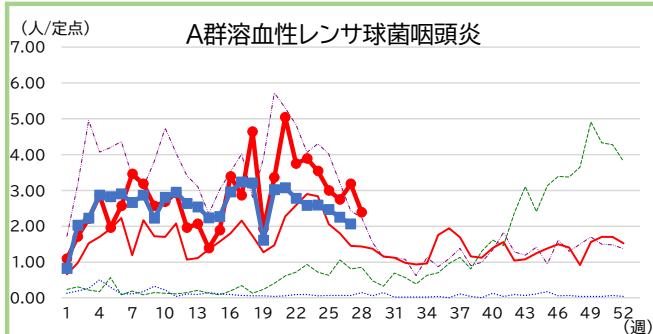
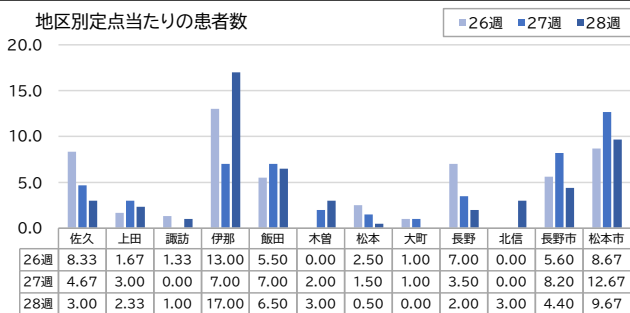
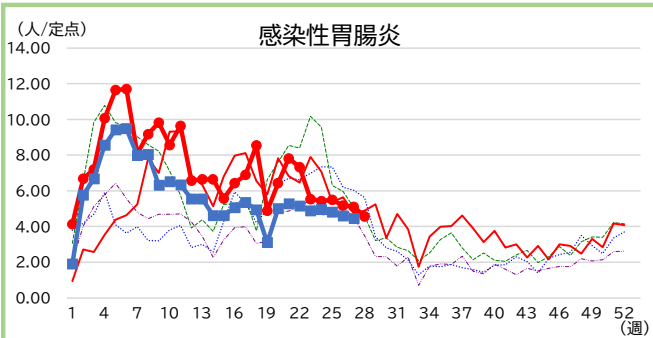
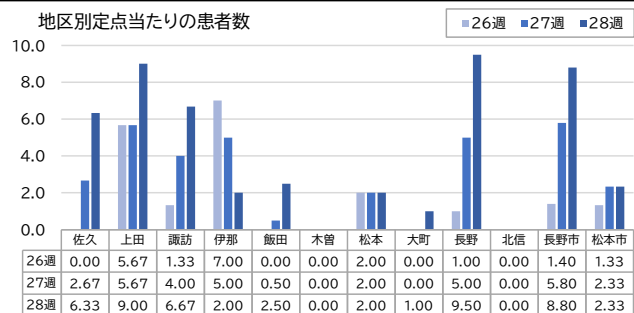
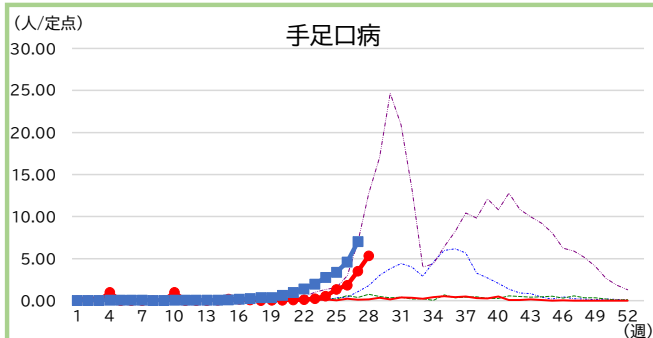
ファクス 026-235-7334

Email kansen@pref.nagano.lg.jp

注意が必要な感染症の推移

定点把握疾患4疾患

— 県2022 — 県2023 — 県2024
— 県2025 ● 県2026 ■ 国2026



急性呼吸器感染症(ARI)の推移

